

災害の想定規模について

平成27年に水防法が改正され、洪水・高潮・津波において、「各地の過去最大の被害から想定し得る最大規模の要因」によって浸水が想定される区域と、浸水した場合の水深・浸水継続時間を示した「浸水想定区域図」を公表するようになりました。

その際に使用される、想定し得る最大規模の被害を「想定最大規模」(L2)と言います。
また、発生頻度の高い水害への対策の基準となる被害想定を「計画規模」(L1)と言います。

想定最大規模と計画規模

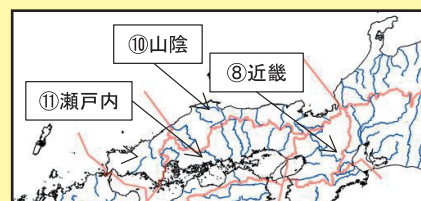
	想定最大規模(L2)	計画規模(L1)
洪水についての定義 	日本を降雨の特性が似ている15の地域に分類し、その地域の中で過去最大の雨量をもたらした降雨が市内の全河川に降った場合に想定される最大の被害 参照:P5~6	河川を整備するにあたり、発生頻度の高い洪水に対して対策の基準となる被害想定 参照:P7~18
高潮についての定義 	満潮時に、過去最大規模の台風が、常に一定の勢力で、防潮堤・堤防を破壊し、最大の被害をもたらす経路を通った場合に想定される最大の被害 参照:P23~24	
津波についての定義 	南海トラフ巨大地震相当の地震により発生する、最大クラスの津波が到来した場合に想定される最大の被害 参照:P35~36	
発生の確率	1/1000年確率	1/100年確率

※ 1/1000年確率とは、1000年に一度発生する周期的な現象ではなく、1年の間に発生する確率が1/1000 (0.1%) の現象です。



降雨特性の地域区分

洪水の想定最大規模を算出する15の地域区分の内、兵庫県は「近畿」(明石川より東側)、「山陰」(主に但馬地方)、「瀬戸内」(上記二つに含まれない地域)の三つに分けられ、相生市は「瀬戸内」地域に含まれます。



防災情報一斉送信サービス(スピーキャン・ライデン)について

相生市では、防災行政無線から放送される避難情報・気象警報等の防災情報を、携帯電話・スマートフォン等へ電子メールで配信しています。また、電子メールを利用できない方に限り、ご自宅の固定電話(音声)・FAXでの配信も行います。
非常時の防災行政無線が聞こえない、聞き取りにくいと感じの方は、是非ご利用ください。

防災情報一斉送信サービスの登録の流れ

携帯電話・スマートフォンの電子メールが…

利用できない方

市役所1号館2階の危機管理課で、申込書に住所・氏名・配信先の電話番号を記入し、申し込み下さい。(印鑑は不要です)



利用できる方

以下のQRコードを…



読み込めない方

メール送信画面を開き、宛先に bousai.aioi-city@raidan2.ktaiwork.jp と入力します。

読み込める方

本文を打ち込んでメールを送信！

届いた仮登録メールのURLをクリックして登録画面に進み、「次へ」→「登録」と押すと登録が完了します。

配信する防災行政無線放送の内容



市の防災情報
(避難所開設等)



各種気象警報



土砂災害
警戒情報



地震情報
(震度4以上)



国民保護情報

利用上の注意

- ①このサービスは24時間体制で運用されているため、深夜でも配信されますのでご了承ください。
また、テスト放送や、一部の地区に限った情報(避難所開設等)も登録者全員に配信されます。
- ②登録料・利用料は無料ですが、所定のパケット通信が発生するため、通信会社の契約状況によってはパケット通信料が発生します。
- ③メールは「aioi-city@raidan2.ktaiwork.jp」、電話は「0570-095-999」から発信されます。
これらのアドレス・番号に対して、受信・着信拒否が作動しないようにしておいて下さい。

防災行政無線の再確認はこちら

☎ 24-0889